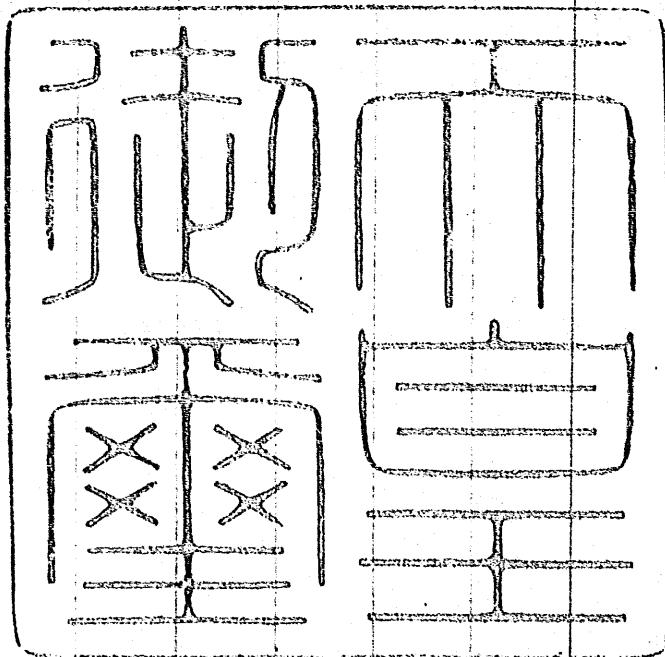


勅令第六号

朕陸軍葬喪令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セ
シム

睦仁



明治四十五年一月二十日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望
陸軍大臣男爵石井新六

勅令第六號
陸軍葬喪令

第一章 總則

第一條 本令ハ陸軍現役軍人又ハ勲三等^{實冠章ヲ除シ}若ハ功三級以上ノ者ノ葬喪ニ付陸軍ニ於テ施行スル儀式其ノ他陸軍軍人軍隊ノ表喪ニ関スル事項ヲ定ム

第二條 葬喪ニ関スル儀式左ノ如シ
會葬式

一 儀仗兵

二 堵列

三 吊砲

四 總代會葬

表喪式

第三條 會葬式及表喪式ハ隊附陸軍軍

人ノ葬喪ニ在リテハ當該團隊長其ノ

他ノ葬喪ニ在リテハ其ノ地衛戍司令

官東京總督以下同之ヲ管理ス但

シ隊附陸軍軍人ノ葬儀ヲ他ノ衛戍地

ニ於テ行フトキハ其ノ地衛戍司令官
之ヲ管理ス

第四條 召集中又ハ現ニ陸軍軍人ノ勤

務ニ服スル陸軍在郷軍人ハ陸軍現役

軍人ニ準ス

見習士官ハ少尉ニ見習主計見習醫官

見習藥劑官及見習獸醫官ハ少尉相當

官ニ士官候補生見習士官主計候補生

見習主計及一年志願兵ハ各其ノ階級

ニ應シテ下士又ハ兵卒ニ其ノ他ノ陸

軍諸生徒ハ兵卒ニ準ス

第五條 戰時事變其ノ他已ムヲ得サル
場合ニ於テハ第三條ノ管理者ハ會葬
式及表喪式ノ全部又ハ一部ヲ施行セ
サルコトヲ得

第二章 會葬式

第一節 通則

第六條 會葬式ヲ行フハ一回ニ限ル他
日改葬スルコトアルモ再之ヲ行フコ
トナシ

第七條 會葬式ハ晝間葬儀ヲ爲ストキ
ニ限リ之ヲ行フ

第八條 禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタ
ルトキヨリ其ノ執行ヲ終リ若ハ其ノ
執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ間
ニ於テ死亡シタル者ニ對シテハ會葬
式ヲ行フコトナシ陸軍現役軍人ニシ
テ停職中死亡シタル者ニ付亦同シ

第二節 儀仗兵

第九條 儀仗兵ハ左ニ掲クル者ノ葬儀

ニ之ヲ差遣ス但シ海軍葬喪令ニ依リ
儀仗隊ヲ差遣スル場合ハ此ノ限ニ在
ラス

一 陸軍現役將校同相當官

ニ 陸軍現役准士官及勲章ヲ有シ又
ハ戰役ニ從事シタル陸軍現役下
士兵卒

三 勲三等又ハ功三級以上ノ勲章ヲ
有スル者

第十條 儀仗兵ハ陸軍現役軍人ニシテ

待命又ハ休職ノ者及前條第三號ニ該
當スル者^{陸軍現役軍人}ニ對シテハ遺族
ヨリ其ノ地衛戍司令官ニ請求アリタ
ル場合ニ限リ之ヲ差遣ス

第十一條 儀仗兵ハ衛戍地内ニ於テ又
ハ衛戍地外ニシテ兵營ヨリ半日行程
概^三里^ネ以内ノ地ニ於テ葬儀ヲ爲ス場合
ニ限リ之ヲ差遣ス

第十二條 陸軍現役軍人ノ葬儀ニ差遣
スヘキ儀仗兵ノ編成ハ別表ニ依ル

第十三條 第九條第三號ニ該當スル者

ニシテ大勲位ヲ有スルトキハ別表第一項ニ功一級ヲ有スルトキハ同第二項ニ勲一等又ハ功二級ヲ有スルトキハ同第三項ニ勲二等又ハ功三級ヲ有スルトキハ同第四項ニ勲三等ヲ有スルトキハ同第五項ニ準シ儀仗兵ヲ差遣ス

前項ノ規定ハ陸軍現役軍人ニ付テハ其ノ儀仗兵前條ノ規定ニ依ル儀仗兵

ヨリ多キ場合ニ限リ之ヲ適用ス

第十四條 隊附將校ノ葬儀ニ付テハ儀

仗兵ハ喪家又ハ病院等ニ至リ其ノ門前ニ於テ道路ノ一側ニ整列シ柩ノ出ツルトキ之ニ對シ死者ノ階級ニ相當スル軍隊ノ敬禮ヲ行ヒ喇叭手ハ吹ナス笛一回ヲ吹奏シタル後其ノ隊ヲ二分シテ柩ノ前後ニ備ヘ行進ス但シ一小隊以下ナルトキハ隊ヲ分ツコトナク柩ノ前ニ行進スヘシ

行進間儀仗兵ハ步調ヲ執ルコトナク
柩ノ速度ニ準シテ行進シ執銃者ハ負
革ヲ以テ銃ヲ倒ニ右肩ニ托シ銃身ヲ
後方ニシ右手ヲ以テ銃床ヲ握ルヘシ
第十五條 前條ノ規定ニ該當セサル葬
儀ニ付テハ儀仗兵ハ途中ノ護衛ヲ爲
スコトナク直ニ葬祭場ニ到リ柩ノ葬
祭場ニ到著シタルトキ之ニ對シ前條
ニ準シ敬禮ヲ行フヘシ但シ特ニ命令
アリタル場合ニ於テハ前條ニ依ル

第十六條 儀仗兵ハ葬祭場ニ在リテハ
場外適宜ノ位置ニ於テ柩ニ面シテ整
列シ葬祭終リタルトキハ再軍隊ノ敬
禮ヲ行ヒ喇叭手ハ吹ナス笛一回ヲ吹
奏シ且現役將校ノ葬儀ニ付テハ吊銃
齊發ヲ行フ其ノ回数左ノ如シ
將官 三回
佐官 二回
尉官 一回
吊銃齊發ハ野戰砲兵ヲ儀仗兵ト爲ス

トキハ之ヲ行ハス又儀仗兵二中隊以
上ナルトキハ其ノ内一中隊ヲシテ行
ハシム

第十七條 儀仗兵ハ吊銃齊發ヲ行ヒタ
ル後其ノ編成ヲ解キ退去スヘシ
吊銃齊發ヲ行ハサル場合ニ於テハ前
條第一項ノ敬禮ヲ行ヒタル後直ニ退
去スヘシ

第三節 堵列

第十八條 團隊長 獨立隊隊長ニ於ケル大
隊長中隊長ニ於ケル大

ハ生徒隊ヲ有スル學校校長タル將官又
ハ佐官及教導隊長生徒隊長同隊中隊
長ヲノ葬儀ヲ衛戍地ニ於テ行フトキ
ハ該地屯在ノ部下軍隊ヲ生徒隊全部儀
兵ニ列除クル柩ノ通路ニ堵列シ送葬ス
ヘシ

堵列軍隊ハ死者次級ノ團隊長又ハ隊
附將校之ヲ指揮ス

第十九條 堵列軍隊ハ總テ徒步編成ト
シ砲兵ハ砲ヲ携行スルコトナシ

第二十條 堵列軍隊ノ位置ハ葬喪管理

者之ヲ定ム但シ柩ノ來ルヘキ方ヲ上位トス

第二十一條 堵列軍隊ハ柩ノ通過スルトキ之ニ對シテ軍隊ノ敬禮ヲ行ヒ軍樂隊及喇叭手ハ吹ナス笛一回ヲ吹奏スヘシ

第四節 吊 砲

第二十二條 吊砲ハ左ニ掲クル現役將官ノ葬儀ニ之ヲ行フ
一 大將及親任ノ官ニ在リ又ハ親補

ノ職ニ在ル中將ヲ師團長除ク

二 師團長

第二十三條 吊砲ノ數ハ前條第一號ノ者ニ付テハ十九發第二號ノ者ニ付テハ十三發トス

第二十四條 吊砲ハ野戰砲兵隊駐屯ノ衛戍地ニ於テ葬儀ヲ爲ストキニ限り之ヲ行フ

第二十五條 吊砲ハ葬喪管理者ノ定ムル場所ニ於テ野戰砲兵隊柩ノ葬祭場

ニ到著シタルトキヨリ毎發一分乃至二分ヲ隔テテ發射ス

第五節 總代會葬

第二十六條 陸軍現役軍人ノ葬儀ヲ衛戍地ニ於テ行フトキハ會葬ノ爲總代ヲ差遣ス總代ノ官等等級及人員ハ別表ニ依ル

第二十七條 總代ノ服裝ハ將校同相當官准士官ニ付テハ正裝下士兵卒ニ付テハ軍装トス

第二十八條 總代ハ途上柩ノ兩側ニ隨行ス其ノ順序ハ最下級ノ者ヲ左側先頭トシ逐次左右交互ニ柩ノ兩側ニ隨ヒ最上級ノ者ヲ右側ノ後尾トス但シ總代ノ人員奇數ナルトキハ右側後尾ノ一人ヲ缺ク

第二十九條 總代ハ葬祭場ニ於テハ親族ノ次ニ列スヘシ

第三章 表喪式

第三十條 步騎兵聯隊長死亡シタル場

合ニ於テハ後任者拜命ノ日迄聯隊ノ
軍旗ニ喪章ヲ附スヘシ

第三十一條 軍隊附及教導隊又ハ生徒
隊ヲ有スル學校附將校同相當官准士
官ハ當該團隊長及學校長タル將官又
ハ佐官死亡シタル場合ニ於テハ其ノ
死亡ノ日ヨリ十四日間所屬大隊長中
隊長及教導隊長生徒隊長同隊中隊長
死亡シタル場合ニ於テハ其ノ死亡ノ
日ヨリ七日間左腕及刀又ハ劍ニ喪章

ヲ附スヘシ

第三十二條 現役將校同相當官准士官ハ
親族ノ喪ニ居ルトキハ其ノ喪期間左
腕ニ喪章ヲ附スヘシ但シ除服本務ニ
服スルトキハ之ヲ除去ス

第三十三條 本令ニ依リ會葬式ニ加ハ
ル現役將校同相當官准士官ハ左腕及
刀又ハ劍ニ喪章ヲ附シ軍隊ハ軍旗喇
叭及樂器ニ喪章ヲ附スヘシ
第三十四條 本章ノ規定ニ依リ附スヘ

キ喪章ハ左ノ各號ニ依ル

一 軍旗ノ喪章 幅三寸長四尺、黒布ヲ旗

竿ノ上端ニ附ス

二 喇叭ノ喪章 幅三寸長二尺、黒布ヲ前

身及後身ノ部分ニ附ス

三 樂器ノ喪章 黒布ヲ以テ大小太鼓ノ全

體ヲ覆フ

四 刀及劍ノ喪章 黒紗ヲ以テ柄ヲ卷ク

五 左腕ニ附ス喪章 幅三寸、黒紗ヲ左腕ニ卷ク

第三十五條 第三十二條及前條ノ規定

ハ陸軍在郷將校同相當官准士官ニ之ヲ準用ス

第四章 雜則

第三十六條 葬喪管理者ハ准士官以上ノ陸軍現役軍人ノ葬儀ニ付テハ葬儀委員ヲ設ケ之ニ下士兵卒若干名ヲ附シ葬儀ニ関スル事務ヲ管掌セシムルコトヲ得但シ葬喪管理者團隊長ナルトキハ衛戍司令官ノ認可ヲ受クヘシ葬儀委員ノ人員及事務ハ葬喪管理者

之ヲ定ム

第三十七條 將校ノ柩ハ柩車ニ載セ兵

卒ヲシテ之ヲ牽カシムルコトヲ得

第三十八條 將校同相當官准士官ノ柩

ハ通常黒布ヲ以テ之ヲ覆ヒ其ノ上ニ

死者ノ勲章記章褒章第一種帽正衣袴

及刀又ハ劍等附屬ヲ置クヘシ但シ勲

章記章ハ正衣ニ装著スヘシ

前項ノ死者自馬ヲ有スルトキハ之ヲ

柩後ニ牽カシノ其ノ鞍ハ黒布ヲ以テ

覆フヘシ

勲三等又ハ功三級以上ノ勲章ハ將校

同相當官等ヲシテ之ヲ捧持セシムルコ

トヲ得但シ其ノ服装ハ總代會葬ノ例

ニ依ル

下士兵卒ノ柩ハ通常黒布ヲ以テ之ヲ

覆ヒ勲章記章褒章ヲ其ノ上ニ置クヘ

シ

葬儀ニ際シテハ柩ノ直前ニ死者ノ官

等級位勲功學位爵氏名等ヲ記シタル

銘旗ヲ樹ツルヲ例トス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
陸軍會葬式及表喪式ハ之ヲ廢止ス

(別表)

死者ノ官等等級	儀仗兵	總代會葬
第一項 大將及親任ノ官ニ在リ又ハ親補ノ職ニ在ル中將	聯隊長指揮スル歩兵二聯隊	
第二項 前項ニ掲ケサル中將	中佐ノ指揮スル歩兵二大隊	死者ト同官等以下ノ將校同
第三項 中將相當官及少將	中少佐ノ指揮スル歩兵二大隊	相當官各階級毎三人但シ
第四項 少將相當官及大中佐	少佐ノ指揮スル歩兵二中隊	其ノ人員四名ニ滿タサルトキハ
第五項 大中佐相當官及少佐	大尉ノ指揮スル歩兵一中隊	之ヲ四名トス
第六項 少佐相當官及大尉	中尉ノ指揮スル歩兵二小隊	
第七項 大尉相當官及少尉並同相當官	少尉又ハ特務曹長指揮スル歩兵小隊	
第八項 准士官	曹長又ハ軍曹ノ指揮スル歩兵三小隊	准士官及下各階級並ニテ四人
第九項 曹長同相當階級者	軍曹又ハ伍長ノ指揮スル歩兵六分隊	死者ト同階級以下各階級並ニテ四人
第十項 軍曹伍長同相當階級者	伍長又ハ上等兵指揮スル歩兵一分隊	
第十一項 上等兵同相當階級者	故參卒ノ指揮スル歩兵卒四名	
第十二項 一二等卒同相當階級者	故參卒ノ指揮スル歩兵卒四名	死者ト同等級以下者通シテ四人

備考

- 一本表ノ人員ハ同一衛戍地ニ於テ充テハルハ之ヲ減スルコトヲ得
- 儀仗兵死者隊附軍人トシテ其ノ隊ヨリ差遣シ其ノ他ノ死者ニ在リテハ歩兵ノ用ニアラズ但シ歩兵ノ駐屯セサル衛戍地ニ於テハ當該衛戍兵種ノ用フルモノトス
- 儀仗兵ハ徒歩編成トシ砲兵ハ砲ヲ推乃行スルコトナシ
- 歩騎兵聯隊長ノ薙并儀ハ儀仗兵ハ軍旗ヲ樹ツ但シ他隊ヲ以テ儀仗兵爲メトキハ此ノ限ニ在ラス
- 一本表ノ外第六項乃至第八項ノ場合ハ喇叭手各三名第九項乃至第十二項ノ場合ハ同一名ヲ附スルモノトス
- 總代ハ職務中徒歩スルヲ例トス